



東小だより

学校だより 1月号
令和7年1月8日
昭島市立東小学校
校長 鈴木 正樹

子供たちの健全な成長に向けて

校長 鈴木 正樹

いよいよ学年の最後の学期である3学期が始まりました。1月は、本校の開校70周年を祝う「東小まつり」「開校70周年記念式典」等の学校行事が行われます。インフルエンザ等の感染症の広がりが心配されますが、感染症対策を徹底して、子供たちが充実した学校生活を送れるように教職員一同で取り組んでまいります。御家庭・地域の皆様にも連携・協力をお願いいたします。

教育の目的の一つは「自立し、共生する心身ともに健康な人」を育てることです。

自立とは、自分の行動を自分で決め、実行し、結果の責任を自分でとる、すなわち自己決定・自己責任の原則を身に付けることです。そのためには、情報を的確に捉え、深く考え、論理的に判断し、実行する力及び公正な態度が必要です。

共生するとは、自分とは異なる立場や考え方の人々の存在を認め、互いに尊重し合い、助けたり、助けられたりすることです。そのためには、他者の思いや状況を理解し、自分の考えを的確に表現する力及び弱い者に優しく接する温かい心が必要です。

心身の健康とは、自立と共生の土台となる健全な自己肯定感や社会性並びに健康な体です。

人は、①自分が愛され尊重されていると感じることから、自分は大切だ、自分は必要とされているという自尊感情をもちます。これが自己肯定感の基となります。次に、②自分が大切なら、同じように他者も大切なのだという相対感覚から社会性を獲得していきます。やがて、③世の中には、やらなければならないこと・やってはならないことがあるという絶対的な規範への感覚を発達させ、公正な態度を身に付けていきます。①②③を順調に発達させた子供は、思いやりのある優しい子供に育ちます。

これに、健康な体を加えれば、教育の目標は十分に達成されたといえるのではないのでしょうか。

ときおり、自分だけがよければ、他者を傷付けても構わないという暴君的自己肯定感をむき出しにした人の起こす悲しい事件が報道されます。実に不幸なことです。

本校の子供たちには、①②③の段階をうまく乗り越えて、健全に育ててほしいと願っています。

進学・進級まで残りあと3か月です。令和7年も教職員一同、力を合わせて教育活動を展開してまいりますので、引き続き本校の教育活動への御理解と御協力をお願いいたします。